

科目名 (科目番号)	在宅障害者の 理学療法 (064711)	教員名	渡邊 昌宏 麻生 保子 他	学科等	理学療法	選択	履修年次	3	
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1		
				オフィスアワー		渡邊研究室			
授業概要	臨床実習および現場においても在宅生活を送るための知識が必要不可欠となってきた。本講では臨床で目の当たりにする在宅障がい者の在宅生活と、それを維持するために必要な理学療法士の役割と他職種との連携について、現代の社会問題をテーマに取り上げながら学ぶ。								
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること								
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標						
	1	医療・介護保険と理学療法	学習内容:在宅障がい者に関する保険について学習する。 到達目標:理学療法を受けるための保険について学び理学療法士の役割を理解する。						
	2	社会的孤立と孤独感に対する リハビリテーション	学習内容:障害による孤独について学習する。 到達目標:障害によって引き起こされる障がい者の孤立と孤独とその対応に関して理解する。						
	3	訪問リハビリテーション	学習内容:地域で必要とされる理学療法士の職域を学ぶ。 到達目標:訪問の症例を提示し具体的な理学療法の展開方法を理解する。						
	4	介護予防・健康増進	学習内容:予防理学療法について学ぶ。 到達目標:認知機能, 転倒, 関節痛, 呼吸器疾患等に対する予防的理学療法を理解する。						
	5	終末期リハビリテーション	学習内容:終末期の理学療法について学ぶ。 到達目標:自立が望めず意識すら不確かな人々に対する理学療法の意義を理解する。						
	6	在宅で用いられる福祉用具	学習内容:在宅で多く用いられている福祉用具について体験し学ぶ。 到達目標:理学療法士の視点で対象者にとって最適な福祉用具の選定と使用方法を理解する。						
	7	地域包括ケアシステム構築演習(地域リハビリテーションの 実際1)	到達目標:事例にとって効果的な介入・支援に関して様々な視点から考えることができる。 学習内容:在宅障害者の地域生活への介入・支援内容を他職種連携によりグループ学習を行う。						
	8	地域包括ケアシステム構築演習(地域リハビリテーションの 実際2)	到達目標:在宅障害者のQOLの増大に向けた介入・支援方法を発表することができる。 学習内容:他職種間グループで検討した在宅障害者への介入・支援内容を発表する。						
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
成績評価の方法・基準	レポート提出(講義時間内)80%、グループ課題20% (評価表に基づいて評価をおこないます)								
教科書	適宜資料を配付いたします。								
参考図書	理学療法フィールドノート 地域・在宅 新・芯から支える実践リハビリテーション心 理 実技・終末期リハビリテーション		南江堂 大田仁史 大田仁史 監修			内山靖 荘道社 荘道社			
教員からのメッセージ	第7回、第8回は看護学科の「公衆衛生看護管理論」と共同授業となります。地域での療養者を含む住民のQOLを高めるためにできることを一緒に考えましょう。レポートはコメントを付して後日返却します。								